

MATCH REVIEW

第50回 関西学生サッカー選手権大会 3回戦

2021.7.10(土) 12:00kickoff びわこ成蹊スポーツ大学

大阪学院大学	0	0	前半	0	2	びわこ成蹊スポーツ大学
		0	後半	2		
		得点 (アシスト)			56分	9 清水 一雅(11 泉 柊椰)
					77分	11 泉 柊椰(9 清水 一雅)

大院大とびわこ大の3回戦は、びわこ大が2-0で勝利を収めた。前半は両チームとも堅い入りを見せ、シュートまでの形が少ない印象。大院大は、何度もハイボールを前線に送り攻撃を試みるが、びわこ大DFに空中戦で圧倒され思うようにFWに収まらず、苦戦を強いられる。対するびわこ大は決定機こそ少なかったが、ボールを保持して主導権を握る。前半はスコアレスで終了し、両チームともメンバー交代を行わずに後半がキックオフ。56分、びわこ大エースのMF11,泉が左サイドを得意のドリブルで切り裂き中央へクロス。そのボールに勢いを持って入ってきたFW9,清水がゴールを決めて先制点をあげる。更に77分には清水のパスから泉が追加点を決め、ホットラインで2-0とする。2点ビハインドとなった大院大は前線の選手を交代し、まずは1点を返そうとする。しかし、びわこ大主将のDF5,森を中心とした集中した守備と前線からのプレスに阻まれ、なかなかゴールをこじ開けることができず、そのまま試合終了。最後まで試合巧者ぶりを発揮したびわこ大が、全国をかけた次戦に駒を進めた。試合後、森は「前半に得点が奪えず難しい試合だったが、後半からは自分たちのペースで試合ができ、勝ててよかった」と語った。



Reported by 納富太一

2021.7.10(土) 14:30kickoff びわこ成蹊スポーツ大学

関西学院大学	2	1	前半	0	1	大阪経済大学
		1	後半	1		
34分	オウンゴール	得点 (アシスト)			90+1分	20 村上 陽斗(10 上野 輝人)
90+4分	10 安羅 修雅(26 木村 勇大)					

2回戦の天理大戦ではFW7,山見のゴラツツもあり、危なげなく勝利を収めた関学大と、流科大戦でMF20,村上の2得点を含む4得点で攻撃陣が爆発し流れに乗る大経大の一戦。試合は立ち上がりから関学大がペースを握り、大経大はDF42,藤田とDF14,前野を中心とした粘り強い守備で応戦、ゴールを許さない。34分、関学大はDF4,臼井のクロスを山見が懸命に追いかけ、大経大DFの交錯を誘い、先制点を奪う。リードした関学大はMF23,美藤の長身を活かした球際の強さやDF5,本山の安定した守備もあり、試合を優位に進め、1-0で前半を折り返す。大経大は後半からFW10,上野を投入。その上野の激しいプレスやMF8,山下のボール配球で次第に大経大のペースに。しかし、決定的なチャンスを作ることはできず、時間は過ぎていく。試合終了かと思われた90+1分、大経大は上野のポストプレーから村上がゴールにねじ込み同点。息を吹き返す得点に大経大ベンチも盛り上がる。しかし90+4分、関学大がその息の根を止める。右サイドから攻撃を展開すると途中出場のFW26,木村がパス。反応したMF10,安羅がネットを揺らし、勝負あり。試合終了間際にドラマは待っていた。決勝点を決めた安羅は「守備は安定していたが、点が取れないという難しい展開の中全員が集中した結果が最後の得点となった。次戦もこの流れに乗って勝ちに行きたい」と語った。



Reported by 奥山大輔

大阪体育大学	5	2	前半	0	0	京都先端科学大学	
		3	後半	0			
35分	10 野寄 和哉	得点 (アシスト)					
40分	28 古山 兼悟 (14 河村 匠)						
53分	10 野寄 和哉 (28 古山 兼悟)						
68分	14 河村 匠 (28 古山 兼悟)						
77分	13 梅津 倅風						

蒸し蒸しとする暑さの中、水口スポーツの森陸上競技場で行われた大体大と京都先端大の一戦は、昨年度リーグ戦王者の大体大が、京都先端大を5-0で下し、準々決勝に駒を進めた。前半は互いにロングボールを多用し、敵陣で攻撃を優位に進めようとする展開が続き、空中での競り合いが激しさを見せる。そんな中30分、大体大はFKのチャンスを得るとキッカーはMF10野寄。惜しくもシュートは壁に阻まれるが、こぼれ球を自ら豪快に蹴り込み先制点を取る。畳み掛けたい大体大は40分、DF14、河村の精度の高いクロスでFW28、古山が頭で合わせて2-0とし、前半を折り返す。2点ビハインドとなった京都先端大だったが、ショートカウンターでチャンスを作り出す場面や、DF2、井藤のロングシュートなど、果敢に大体大ゴールに迫る。一方の大体大は相手ゴール前でのパス回しが増え53分に野寄、14分には河村がゴールを決めて点差を広げる。77分にはMF13、梅津が今季初ゴールとなる5点目を決め、試合を締め括った。京都先端大はGK31、中野のPKストップや粘り強い守備を見せ健闘するも、悔しい敗戦となった。

大体大はこの日、19歳の誕生日を迎えた古山の1得点2アシストの活躍で、次戦へ勢いをつけた。先制点を決めた野寄は「入学してから関西選手権を獲っていないため、皆で優勝を狙いたい。一戦一戦チームとして成長して、総理大臣杯に繋げたい」と語った。



Reported by 奥山大輔

※11:00から予定しておりました、関西福祉大学-阪南大学の試合は、7月9日付で阪南大学が棄権し、関西福祉大学の不戦勝となりました。

2021.7.11(日) 11:00kickoff J-GREEN堺・S2フィールド

大阪教育大学	1	0	前半	2	5	桃山学院大学	
		1	後半	3			
73分	28 田中 大智(5 鍋坂 陸平)	得点 (アシスト)				30分	33 片淵 竜鳳(6 三枝 竜也)
						45+2分	6 三枝 竜也(19 池田 翔大)
						48分	33 片淵 竜鳳(37 木下 誠太)
						84分	9 山口 海都
						89分	オウンゴール

上位4チームに与えられる全国大会出場権。負けたら敗退のトーナメント戦には毎年特有の空気感が流れる。無観客開催で行われたJ-GREEN堺での第1試合は、芦屋大相手に4点取って勝利した大教大と、大府大相手に盤石の試合運びで勝利した桃山大の一戦。両チーム落ち着いた入りとなった試合は30分、桃山大MF33,片淵が頭で合わせ先制に成功。前半終了間際にはMF6,三枝がネットを揺らし、追加点。連携した攻撃で圧力をかける桃山大に対して大教大はなかなかペースを掴むことができない。選手交代なしで迎えた後半、開始早々に片淵が本日2点目を決める。3点のビハインドと苦しい状況になった大教大だが、MF8,堤があらゆるところに顔を出し、パスでゲームを組み立て落ち着かせる。すると73分、大教大・DF5,鍋坂のパスを受けたFW28,田中がシュートを決め、1点を返す。大教大が反撃開始かと思われたが、桃山大も高い集中力を維持し油断しない。桃山大は84分に交代で入ったFW9,山口のPK、89分にはOGで2点を追加し、5-1で試合終了。試合後、DF3,石津は「練習から一人一人意識高く取り組んできた成果」と話し、笑みもこぼれた。



Reported by 本橋駿

2021.7.11(日) 13:30kickoff J-GREEN堺・S2フィールド

甲南大学	2	1	前半	0	1	関西国際大学	
		1	後半	1			
40分	4 井上 聖也(7 宮先 弘登)	得点 (アシスト)				53分	9 森山 真成
57分	7 宮先 弘登(6 藤原 貴大)						

猛暑の中J-GREEN堺で行われた3回戦は2部リーグからのジャイアントキリングを狙う関国大と、創部以来初の総理大臣杯出場を成し遂げたい甲南大の一戦。前半立ち上がりから甲南大が1部リーグの意地を見せつけるゲーム運びを見せる。DFラインから相手のスペースを突くボールを何度も供給するが、関国大が最後のところで甲南大FWに仕事をさせない。関国大は堅い守備からのカウンターで甲南大のゴールを脅かすもなかなか得点を生み出せず、40分に甲南大のCKを迎える。そのCKをアビスパ福岡内定のDF4,井上が叩き込んで先制に成功する。後半に立て直しを図り、猛攻をしかける関国大はMF9,森山が中央から値千金のゴールを奪い、同点に持ち込む。しかし、その4分後に甲南大キャプテンMF6,藤原のパスからFW,7宮先が意地の1発を決め、2-1とする。甲南大はその後も関国大の猛攻をシャットアウトして準々決勝に駒を進めた。試合後、藤原は「立ち上がりからボールを保持する展開が続いたが、少し隙を与えてピンチを招いてしまった。守備陣がそれを抑えてくれて流れを取り戻すことができたが、決定機をものにすることができなかった。そんな中でセットプレーからの得点で先制し、前半を終えることができた。後半では一瞬の間で失点してしまったが、すぐに取り返すことができたことはよかった」と試合を振り返った。



Reported by 赤星亮太

2021.7.12(月) 11:00kickoff J-GREEN堺・S8フィールド

同志社大学	0	0	前半	0	1	関西大学
		0	後半	1		
得点(アシスト)					48分	11 宮脇 和輝(29 百田 真登)

今年度の関西学生サッカーリーグでの対戦が未だで、今年初めての対戦となる同大と関西大の一戦。前半からテンポの良いビルドアップからクロス上げてチャンスを出す同大に対して関西大はロングボールからセカンドボールの回収でチャンスを出す。しかし、両チームとも決定的なチャンスは作れず、0-0で前半を折り返す。後半が開始してすぐの48分、MF29,百田が左サイドのドリブルから中央へパスを出すと待ち構えていたMF11,宮脇がゴールへ流し込み先制。直後の後半4分には雷により試合が一時中断。1時間半程度の間断を経て試合は再開し、関西大は前半同様シンプルなロングボールからセカンドボールの回収による攻撃の流れが目立つ。飲水タイム後あたりから関西大が細かいパスからチャンスを作り出し、ペースを握る。同大は75分に前線の選手を交代し、シンプルにPAへロングボールを放り込むプレーが増え、チャンスを作るが、得点には至らず。最後まで1点を守り切った関西大が1-0で勝利した。試合後、関西大キャプテンのDF4,吉田は「色々な意味で難しい試合だったが、勝とうと話していた関西選手権を勝てて良かった」とコメントした。

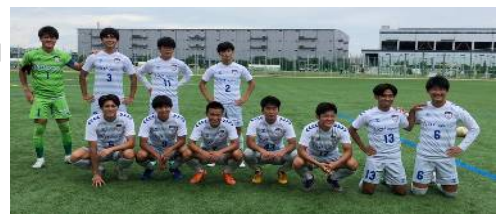


Reported by 姫野晴

2021.7.12(月) 14:45kickoff J-GREEN堺・S8フィールド

立命館大学	1	0	前半	1	2	京都産業大学
		1	後半	1		
85分	5 二宮 和輝	得点(アシスト)			42分	7 食野 壮磨
					48分	9 原田 烈志(43 中田 樹音)

関西学生サッカーリーグで10位立命大と3位京産大の一戦。雷雨によりキックオフが危ぶまれたが、3回戦で唯一の京都勢対決は予定より1時間45分遅れでJ-GREEN堺・S8フィールドにて行われた。試合は序盤から互いにボールを握り合う互角の展開に。試合が動いたのは42分、京産大が右サイドの混戦からMF7,食野のシュートで先制に成功し、1-0で前半を折り返す。後半が開始した直後の48分、京産大・FW43,中田の中央からのパスを受けたFW9,原田がPA内右からシュートを放ち、追加点を手にする。2点ビハインドとなった立命大は積極的にゴールへと向かい85分、京産大ゴール前での混戦から立命大DF5,二宮がシュートを放ちゴール。1点差に詰め寄り、更に追加点を狙う。しかし、京産大が集中した守りを見せ、立命大はなかなかゴールを奪えず、1-2で試合終了。京産大・GK1,田中は「大事な試合で、自分たちがずっと積み重ねてきたことを出すことだけに集中し、その中でも特別な思いを持って臨んだ」と試合を振り返る。京都勢対決を2-1で制した京産大が準々決勝へと駒を進めた。



Reported by 片岡颯真

Match Preview 準々決勝の見どころ

2021.7.17(土) 11:00kickoff J-GREEN堺・メインフィールド

関西学院大学

VS

桃山学院大学

リーグ戦7勝1敗1分、暫定首位の関西学院大学はガンバ大阪内定FW7,山見、ファジアーノ岡山内定DF5,本山らタレントがそろそろ。主将の本山は「自分たちの代は過去3年間、夏の全国大会に出たことがない。歴史を変える覚悟で準備していきたい。」と意気込む。

3回戦では、5点を取って勝利し勢いのある桃山学院大学。MF8,安藤が長短のパスで組み立て、2年生DF2,奥田、MF,33片淵らのハツラツとしたプレーは魅力的。主将のDF3,石津は「全員で勝つこと信じて、戦うだけです。」と話した。

2021.7.17(土) 13:30kickoff J-GREEN堺・メインフィールド

甲南大学

VS

びわこ成蹊スポーツ大学

アビスパ福岡内定DF4,井上、1年生DF2,當麻ら強靱な守備がチームを支える甲南大学。高精度な左足キックが持ち味の大型ボランチ、主将のMF6,藤原は「チャレンジャーの気持ちをもって全国大会の切符をつかみ取りたい。」と話し、虎視眈々と勝利を目指す。

2試合連続複数得点、無失点を続ける好調びわこ成蹊スポーツ大学。MF7,工藤とMF8,佐藤が攻撃を組み立て、MF11,泉、FW14,石橋が絡むと破壊力抜群。主将DF5,森は「目指しているのは2連覇。勝てば全国が決まるが、決勝で勝つための通過点。必ず勝ちたい。」と笑顔で話した。

2021.7.18(日) 11:00kickoff J-GREEN堺・メインフィールド

京都産業大学

VS

関西福祉大学

MF7,食野、FW9,原田が攻撃を牽引する京都産業大学。アグレッシブなサッカーで迎える準々決勝。3回戦でキャプテンマークを巻いて戦ったGK1,田中は「あと3つで優勝が決まる。少しでも良い状態で試合を迎えられるよう練習から取り組んでいきたい。」と力をこめる。

勝ち進んだチームで唯一の2部リーグ所属、関西福祉大学はMF8,谷本が注目選手。3回戦は対戦校の棄権により2週間の準備期間を確保。主将のMF16,服部は「初の全国大会出場が目の前まで来た。自分たちのサッカーが表現できるよう良い準備をして臨みたい。」とジャイアントキリングを目論む。

2021.7.18(日) 13:30kickoff J-GREEN堺・メインフィールド

大阪体育大学

VS

関西大学

ポストプレーが得意なFW9,高橋、圧倒的なテクニシャンMF10,野寄、攻撃参加で決定機を演出するDF14,河村らを擁するリーグ3連覇の大阪体育大学。正確なパスでゲームを作る1年生MF4,吉岡にも目が離せない。DF2,小川主将は「複数得点をとって、失点ゼロで勝てるように頑張ります。」と力強く話す。

3回戦で雷雨による1時間24分の中断にも動じず勝ち切った関西大学。創部100周年を迎えるチームの軸はMF6,草刈。独特なステップから好機を創出するMF20,足立のドリブルにも注目。主将のDF4,吉田は「チャレンジャー精神をもって自分達らしく戦いたい。」と不敵な笑みを浮かべる。